

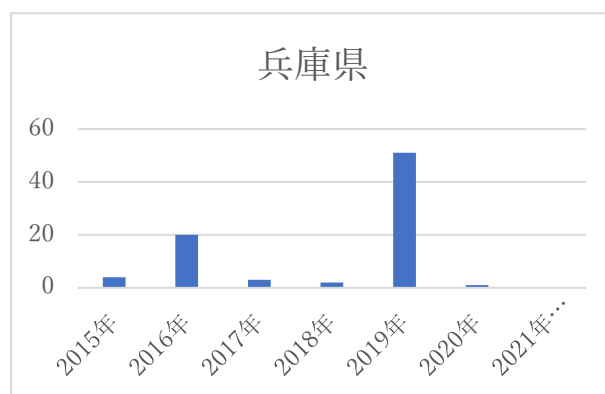
麻疹予防のためMRワクチンを接種しよう！

(令和3年6月14日)

麻疹の発生状況

2015年3月27日にWHO 西太平洋地域事務所より、日本は麻疹の排斥状態にあることが認定されました。一方で、海外ではまだ麻疹が流行している国が多く、流行地への渡航後に国内で発症する例が散発しています。

兵庫県では、2019年に一時的に発生が多くみられましたが、近年の発生は抑えられています。



麻疹について

- ・病原体：麻疹ウイルス
- ・感染経路：主な感染経路は、空気感染です。
- ・潜伏期間：10～12日、発疹出現までは約14日
- ・症状

麻疹は、はしかともいわれる急性の全身感染症で、感染力が非常に強く、免疫をもっていない人が感染するとほぼ100%発症するといわれています。

発熱や咳、鼻水といった風邪のような初期症状に続いて、39℃以上の高熱とともに特有の発疹が耳後部、頸部、前額部から全身へ広がっていきます。

注意したいのは、肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症で、先進国であっても1000人に1人が死亡するといわれています。

治療は対症療法が中心となりますが、重症化防止のため早期受診が重要です。

予防のポイント

麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみでは予防できません。発症しても対症療法が中心となるので、麻疹ワクチン接種が最も有効な予防法です。

- (1) 1歳のお誕生日のプレゼントにMRワクチンを接種しましょう。
- (2) 小学校入学準備とともに2回目のMRワクチンを忘れずに接種しましょう。
- (3) 海外の麻疹流行地域へ渡航される方で、麻疹の罹患歴や接種歴が明らかでない場合は、早めにかかりつけ医に相談し予防接種についてご検討ください。

<麻疹と診断されたら、当所健康管理課へご連絡ください。>

(参考)

厚生労働省「麻疹（はしか）に関するQ&A」

<http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/hashika/>

国立感染症研究所ホームページ「麻疹の発生動向」

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>

兵庫県加東健康福祉事務所

